

【中国の縁起のいい数字】

日本人が好きな数字は、末広がりの「8」、ラッキーセブンの「7」、また奇数も割り切れないので縁起がいいとされ好まれています。しかしその音や意味から、たとえば「4」は「死」、「9」は「苦」のように縁起がよくないとされている数字もあります。

中国人も日本人以上に縁起をととても気にします。今回は中国で一般的な数字に関する縁起を紹介します。

①「八」…吉祥を象徴

まず思いつくのが、日本でもおなじみの「八」ですね。中国語のお金持ちになる「発財」(facai)の発(fa)と「八」(ba)の発音が似ているので、音をかけて、お金持ちになれますよという願いが込められています。

②「九」…完璧性を象徴

日本ではあまり縁起のよくない数字ですが、中国では、「八」の次に人気のある数字です。中国語で「九」(jiu)の発音が、長い、長生きするなどの意味を持った「久」(jiu)と同じ発音であるため喜ばしい数字であるとされています。

③「六」…吉祥を象徴

「六」には、「六六大順(全てうまくいく)」ということわざがあるため、自分の願いがみな順調に叶えられるという意味が含まれています。

④「四」…日本と同じ縁起が悪い数字

「四」は中国でも縁起が悪いとされており、中国語の発音で「四」(si)が、「死」(si)と同じ発音になるためです。

“北京オリンピックが2008年8月8日8時8分に開幕したのは、まだ記憶に新しいと思いますが、どうしてそうなったのかはもうお分かりですよ。普段の生活でも携帯電話の番号や、自動車のナンバープレートなど、縁起のよい数字の並びは、特に人気で、高値で取引されることもあるそうです。中国では日本よりもっと実生活に数字と縁起の関係が深いようですね。

